

事務事業名		ほいほい介護予防事業(旧二次予防事業)			会計	介護保険						
H27担当課等名		長寿支援課		H27係等名	健康長寿担当		H26係等名	健康長寿担当				
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり			事業種別	政策	開始	18	終了	
		施策	35	高齢者福祉の推進								
目的	対象(誰・何を)	・65歳以上で要支援・要介護状態となるおそれの高い高齢者(二次予防高齢者) ・運動機能向上、口腔機能向上、栄養改善、認知症予防等の介護予防事業					対象指標	指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どうい状態にするか)	介護予防のサービスを受けることにより、要介護状態にならず健康で生き生きとした在宅生活を送る。						二次予防高齢者(人)		976		
	向上させたい上位施策の成果指標	安心していきいき暮らしている高齢者の割合										
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	参加者が事業終了後に要支援・要介護にならなかった割合 %			90	94	90	90				
	成果指標	二次予防高齢者介護予防事業参加者数/二次予防高齢者人口 %			15	37.4	15	15				
定性目標												
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・二次予防高齢者に対し通所型の予防教室を実施する。内容は運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上等のプログラムを週1回で3カ月法人等に委託して実施する。また認知症予防支援プログラムを月2回6カ月実施する。 ・口腔機能の向上プログラムとして歯科衛生士による歯科指導や栄養改善の必要な二次予防高齢者に対し訪問型のサービスとして栄養士による指導と配食サービスを行う。 ・介護予防事業について、実施前後にアセスメントを行い、生活機能向上の効果があつたかどうか評価する。 											
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標			
	<p>1 通所型</p> <p>(1) 二次予防高齢者を対象に運動機能の向上を目的に週1回3ヶ月間の介護予防教室の実施</p> <p>(2) 認知症予防を目的に月2回6ヶ月間の介護予防教室の実施</p> <p>(3) (1)(2)の教室修了者を対象にフォロー教室月2回6か月間実施</p> <p>(4) 介護予防教室において歯科衛生士、栄養士による指導の実施</p> <p>2 地域型</p> <p>地域継続教室を地区の公民館を会場に概ね月2回通年実施</p> <p>3 訪問型 調理等の困難な二次予防高齢者に栄養指導を含めた配食サービス</p> <p>4 二次予防対象者把握事業</p> <p>身体や日常生活の状況についてのアンケート調査表を郵送等により送付・回収し二次予防高齢者の把握を行う。</p>					<p>1(1)教室数と参加者数</p> <p>(2)認知症予防教室数と参加者数</p> <p>(3)フォロー教室数と参加者数</p> <p>(4)実施教室数と実施回数</p> <p>2 地域継続教室数と参加数</p> <p>3 配食サービス実施数</p> <p>4 アンケート調査実施者数</p>			<p>1(1) 24教室 335人</p> <p>(2) 2教室 30人</p> <p>(3) 17教室 233人</p> <p>(4) 27教室 栄養42回</p> <p>歯科14回</p> <p>2 8教室 173人</p> <p>3 1,327食</p> <p>4 1,815人</p>			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		24,812	29,933	25,838	28,984	介護予防事業						
国庫支出金		6,203	7,482	6,459	7,245	H25.26 国25% 県12.5% 市12.5% 1号						
県支出金		3,101	3,741	3,230	3,622	21%						
起債						2号 29%						
その他		7,195	8,680	7,494	8,114	H27 国25% 県12.5% 市12.5% 1号						
一般財源		8,313	10,030	8,655	10,003	22%						
人件費計(千円)②		4,291		4,291		2号 28%						
正規職員所要時間		1,200		1,200								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		29,103	29,933	30,129	28,984							
事業内容・目標達成状況	ほいほい呼ぼう教室から、フォロー教室地域での教室の流れができあがりつつあり、介護予防として教室参加が見込まれている。											
改革改善の考え方	①問題点	二次予防高齢者が、教室終了後続けて参加できる場所の確保。それを行わないとかわって介護保険を利用してデイ等の参加になってしまうことになりかねない。										
	②改革提案	教室参加後健康維持できる場所の確保										